

利賀っ子だより



R 3 . 4 . 3 0

今年度の武蔵野交流につきましてご報告

武蔵野交流は、昭和 47 年、旧利賀村と東京都武蔵野市とが姉妹都市盟約を結んで以来、地域の方に支えていただきながら、互いに児童交流を続けている歴史ある活動です。

利賀小学校の子供たちにとって武蔵野市児童来訪は、楽しい行事の 1 つになっていますし、武蔵野市訪問は高学年になったら体験できるあこがれの活動です。

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、今年度の活動をどうするか、教職員はもちろん、全校児童、関係方面と協議を重ねてまいりました。児童の命の安全が第一です。しかし、脈々と受け継がれてきた歴史ある行事を止めてしまうことにためらいもあります。来訪、訪問の準備等は総合的な学習の時間等で行っているため、直前の状況を見て判断という訳にはいきません。早く結論を出して、今後の学習の計画を立てる必要もあります。

子供たちに相談した時に、子供たちから「今の状態では、交流を楽しめないかもしれない。」「直接会うことはできなくても、交流はしたい。」という意見がありました。先輩方の姿から、交流の意義を感じ、受け継いでいきたいという思いを感じました。とても嬉しく思いました。

何が正解かは、分かりませんが、今できる精一杯のことをすることが、子供たちのためになると考え、今年度の武蔵野交流は以下のようにします。

武蔵野市児童来訪

- 来村いただいての交流は、見合わせる。
- オンライン等で交流する方法を探っていく。



武蔵野市訪問

- 訪問を見合わせる。
- 高学年の宿泊学習を武蔵野市訪問と兼ねているため、高学年は代替えの宿泊学習を行う。

なにとぞ、ご理解のほどよろしくお願いたします。